

第 26 回 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会
原子力科学技術委員会 核不拡散・核セキュリティ作業部会
における上田委員発言内容

一般社団法人日本原子力産業協会

2024 年 6 月 13 日開催の第 26 回核不拡散・核セキュリティ作業部会において、当協会上田課長より委員として以下の発言を行いました。

(1) 核不拡散・核セキュリティに関する最近の取組等について

今回の ICONS では、コンセントによる閣僚宣言が発出されなかったことは残念ですが、共同議長声明にのっとり、最高水準の核セキュリティの確保に向けた一層の取組みが展開されるよう、文科省様におかれましては、関係省庁とも連携の上、IAEA 活動への協力や ISCN を通じた教育・人材育成への支援など引き続きお願いしたいと思っております。

もんじゅサイトに設置する予定の新試験研究炉については、現在詳細設計段階にあると承知しています。核拡散抵抗性の向上は、日本の責任ある原子力平和利用にも通じるものであり、国民の原子力理解の一助になるものと思っておりますので、新試験研究炉の特長として、広報いただければと思っております。一方で、核拡散抵抗性を設計段階に反映する機会の特定作業は、早めを実施いただき、建設スケジュールの大幅な遅延につながらないようお願いしたいと思います。

(2) JAEA/ISCN における今後の取組等について

ISCN の INSEN への加盟により、一層の国際貢献に期待したいと思います。加盟後の活動予定の中で、INSEN の年次会合を 2025 年 8 月頃に日本で開催提案とありますが、核セキュリティ関係者による被爆地訪問などは大変意味のあることですので、実現に向けご尽力いただければと思っております。

核物質防護実習フィールドがリニューアルし、ISCN 実習フィールドとして生まれ変わったことで、一層の人材育成などへの貢献を期待します。原産協会がオンラインで発信している 6 月 6 日付の原子力産業新聞で、そのリニューアルについて紹介させていただきました。

以上

< 参考 >

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu2/kaisai/1405516_00014.html